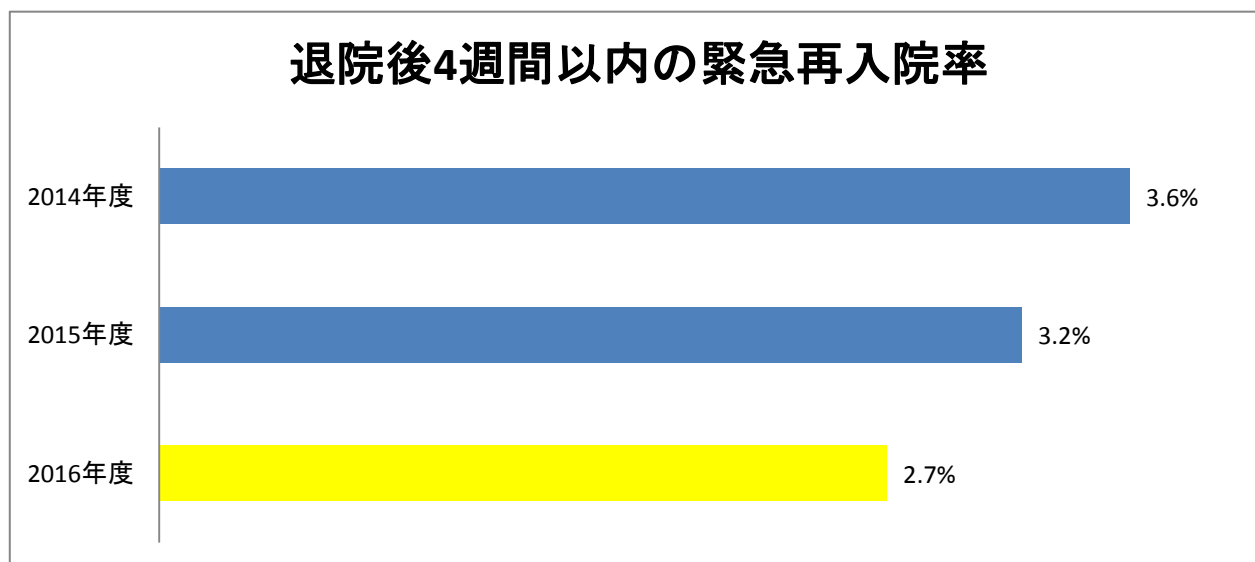


## 退院後4週間以内の緊急再入院率



## ■ 経年で数値は減少しつつも取り組み課題はあり

本指標は1人の患者さんが荻窪病院を退院後、予定されていない状況（再診、定期的な検査などの予定が退院時に設定されていない状況）で再度4週間以内に入院した比率を示す指標で、年間の退院患者数をDPC（包括医療費支払い制度）で算出する「予定外の入院」に該当する患者数で除した数値で算出しております。当院では2014年度から2016年度まで経年的に再入院の比率が減少しております。

本指標は前年度まで「退院後6週間以内の緊急再入院率」として掲載しておりましたが、2016年度の診療報酬の改定に伴い調査期間が4週間に短縮しており、2016年度以前の数値は6週間の調査期間を4週間に置き換え掲載しております。

日本病院会による2016年度のQIプロジェクト報告書では、「退院後6週間以内の緊急再入院率」の集計を行っており同報告書では2.5%（プロジェクト参加345施設平均）という結果が報告されました。